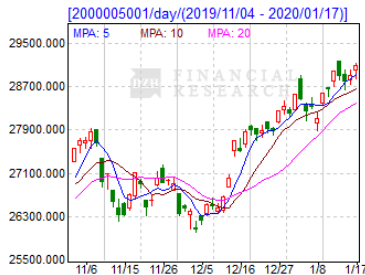


中国株ウィークリーレポート

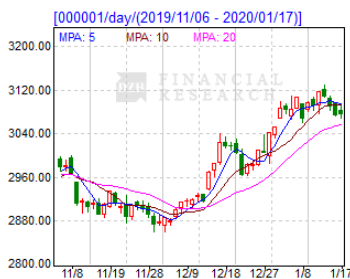
2020/1/20

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	19年末株価
NYダウ	29,348.10	50.46	0.17	1.82	2.84	28,538.44
NASDAQ	9,388.94	31.81	0.34	2.29	4.64	8,972.60
日経225	24,041.26	108.13	0.45	0.80	1.63	23,656.62
上海総合	3,075.50	1.41	0.05	-0.54	0.83	3,050.12
滬深300 (CSI300)	4,154.85	5.81	0.14	-0.20	1.42	4,096.58
ハンセン	29,056.42	173.38	0.60	1.46	3.07	28,189.75
中国企業	11,419.91	91.53	0.81	1.35	2.26	11,168.06

【株式概況】

先週の動き: ハンセン指数は1.5%高と7週続伸、上海総合指数は0.5%安

香港市場ではハンセン指数が週間で1.5%高と7週続伸した。米国による中国の「為替操作国」指定解除などを受け、週初は両国関係の改善を期待する買いが入った。14-15日は利益確定の売りが重しとなったが、その後は中国の強い経済指標の発表などを受けて再び持ち直す展開。ハンセン指数は29000ポイント台を回復し、約8カ月ぶり高値をつけた。本土市場では上海総合指数が週間で0.5%安と7週ぶりに反落。米中の「第1段階の合意」で材料出尽くし感が強まり、利益確定売りに押される展開となった。

今週の展望: 香港市場は上値の重い展開か、24日後場から旧正月の連休入り

香港市場は上値の重い展開か。米中通商合意や中東情勢を巡る地政学リスクの後退など足元で外部環境は大きく改善。先週発表された中国の経済指標も軒並み市場予想を上回り、週初はリスクオン姿勢が継続しそうだが、24日後場から旧正月の連休に入るため、週末にかけて利益確定売りで上値の重い展開が予想される。一方、24日から1週間の連休に入る本土市場はしっかりな展開か。旧正月前は上昇しやすいとのデータもあり、連休前で材料が少ないなか上海総合指数は3100ポイント付近での値動きが予想される。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国生物製薬(01177)	11.74	6.92
2 中国平安保険(02318)	99.55	6.87
3 創科実業(00669)	67.30	6.24
4 九龍倉置業地産(01997)	49.10	5.93
5 Link REIT(00823)	86.25	5.57
6 太古A(00019)	76.50	5.37
7 石業集団(01093)	18.92	5.23
8 ハンセン銀行(00011)	173.50	5.15
9 ホンコン・ファイナガス(00003)	15.90	4.06
10 サズ・ファイナ(01928)	45.00	3.81

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 吉利汽車(00175)	15.52	-3.00
2 中国神華能源(01088)	15.70	-2.48
3 碧桂園(02007)	12.08	-2.42
4 中国人寿保険(02628)	22.00	-2.22
5 瑞声科技(02018)	65.10	-2.18
6 ヘトロファイナ(00857)	3.94	-1.75
7 中国蒙牛乳業(02319)	32.15	-0.77
8 中国工商银行(01398)	5.89	-0.67
9 シバック(00386)	4.72	-0.63
10 中国海外発展(00688)	29.65	-0.17

▼今週の主なイベント

- 1月20日(月) 【米国】キング牧師生誕記念日で休場
- 1月24日(金) 【香港】旧正月で後場から休場(～28日)
- 【中国】旧正月で休場(～30日)

▼今週の期待材料

- ◆15日に米中両国が第1段階の合意文書に正式署名、米中の休戦で景気の先行きに対する警戒感が後退
- ◆中国の10-12月期のGDP成長率は6.0%と市場予想と一致、19年は6.1%と政府目標を達成
- ◆上海総合指数の旧正月前4日間は過去データで軒並み上昇を記録、過去10年間のうち上昇は8回

▼今週の懸念材料

- ◆ハンセン指数は先週まで7週続伸で約8カ月ぶり高値、連休を前に利益確定売りが出やすくなる公算
- ◆本土市場でA株のロックアップ解除がピークに、今週は78銘柄約3000億元分のロックアップが解除
- ◆武漢で新たに17人が新型コロナウイルスに感染、旧正月連休を前に警戒感が強まる可能性も

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 華潤ビール (00291) : 19年12月本決算はコスト削減などで3割以上の増益の見通し
- ☆ 東風汽車集団 (00489) : 20年の新車販売目標を7.5%増の315.8万台に設定
- ☆ チャイナ・モバイル (00941) : 12月の4G加入純増数が前月比26%増加
- ☆ 華電国際電力 (01071) : 19年12月本決算の純利益は最大2.1倍の見通し
- ☆ 中国中煤能源 (01898) : 19年12月本決算は34-43%増益の見通し
- ☆ 中国太平洋保険 (02601) : 19年の保険料収入が8%増加、12月も8%増
- ☆ 中国人寿保険 (02628) : 19年12月本決算は税制変更などで純利益5倍超に拡大へ
- ☆ 招商銀行 (03968) : 19年12月本決算速報値は中国会計基準で15%増益
- ★ アンガン・スチール (00347) : 19年12月本決算は約8割の大幅減益の見通し
- ★ 大唐国際発電 (00991) : 19年の発電量は全国的な電力需要低迷で2%減少

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。